

小学校第4学年社会科学学習指導案

日時 平成25年9月30日(火)

指導者 4年担任 教諭 東 篤哉

- 1 単元名 「受けつがれてきたものには、どんな願いがあるの」
(日本文教出版 3・4年下 p66～p83)

2 単元について

(1) ねらいについて

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の内容(5)「地域の人々の生活について、次の事を見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」のイ「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」を受けて設定されている。

ここでは、地域に昔から残る祭りや年中行事、建物を通して、地域の人々が受けついできた文化財や年中行事には、地域の発展やまとまりなどへの人々の願いが込められていることなどを学ぶ。さらに、地域に暮らす人々の生き方に触れることもねらっている。

人吉球磨地方には、多くの古い神社や仏閣等の歴史的建造物があり、山江村も例外ではない。今回教材として取り上げる東浦臼太鼓踊りは、江戸初期より地域の長男のみで伝承されてきた太鼓踊りで、源平合戦の様子を模したものといわれる。当初の姿をよく残した状態で伝えられているが、20年ほど前に一度伝承が途絶えた。しかし、4年前に保存会の方々の努力により復活。例大祭や、村の行事などにおいて、定期的に披露されている。

指導にあたっては、実際に文化財や年中行事の保存・継承に携わる人の話を聞いたり、調べたりする活動をすることで、地域の発展を願った昔の人たちの思いや、今も受け継ぎ後世に伝えていこうとしている地域の方々の努力や工夫について身近なこととしてとらえることができると考える。そして、さらに自分たちもそのような伝統文化継承の一員であるという自覚が高まり、地域への愛情も深まると考える。

(2) 児童の実態について

※ 省略

(3) 指導にあたって

- 導入では、写真や映像、実物の衣装を提示し、児童の関心や追究意欲を喚起したい。
- 「東浦臼太鼓踊り」が長い間地域住民に受け継がれてきたことを、視覚的にとらえられるよう、巻物型年表を活用し提示する。
- 本単元は、人から人へ受け継がれていくものの願いや思いを知ることが重要である。「東浦臼太鼓踊り」は20年ほど前に一度伝承が途切れ、4年前に再興したという歴史がある。再興に向け努力した人や、その時の思いに視点をあて指導をすすめていきたい。
- 本時は、予想が「思いつき」になることがないように、資料からわかること、資料から考えたことを書くようにする。その際、資料をデジタル化し、根拠となる資料をタブレットPCから見られるようにし考えるようにする。
- 全体での伝え合いの場面では、話し合いが停滞したり堂々巡りしたりすることがないように、指導者も適時話し合いに参加する。板書を活用して意見を整理したり関連づけたりし、学び合いを可視化するように努め、児童の考えを広げ深めていきたい。

ICT活用のポイント

① 教師の活用

- ・学習問題に対する予想を考える場面では、資料を電子黒板で提示し、児童が資料を関連させながら学び合うことができるようにする。

② 児童の活用

- ・考えを練り上げる場面では、予想の根拠となる資料をタブレットPCに映し出して、児童が「考えを共有」しながら、学びを広げ・深めることができるようにする。

3 単元の目標

地域の人々が受けついできた文化財や年中行事に関心をもち、古くから伝わる文化財や年中行事の内容やいわれなどについて調べ、地域の発展やまともりなどへの人々の願いが込められていることを考えるようにする。

4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
①村に残る昔からの年中行事や建	①村に残る年中行事や古い建物な	年中行事や文化財について、次の	①村には、昔から伝えられた祭な

<p>物などの文化財に関心を持ち、意欲的に調べている。</p> <p>②調べたことをもとに、地域の文化財や年中行事に関心を深め、地域社会に対する誇りを持ち、大切にすることをできるように考えようとしている。</p>	<p>どには、人々のどのような願いやいわれがあるのか学習問題をつかみ、考えている。</p> <p>②地域の文化財や年中行事に受け継がれている人々の願いや、それらを受け継ぐ人々の努力を考え、適切な言葉で表現している。</p>	<p>ことを見学したり聞き取り調査をしたりして具体的に調べている。</p> <p>①村に残る年中行事 ②村に残る古い建物や施設</p>	<p>どの行事があり、地域の人々の願いが受け継がれていることを理解している。</p> <p>②村には、古い建物や文化財が残されていて、地域の人々の願いが受け継がれていることを理解している。</p>
--	---	---	--

5 指導計画および評価基準（10時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	関	思	技	理	評価基準・評価方法
1	山江村にある、昔から受け継がれてきたものに関心を持ち、学習計画を立てる。	山江村にある昔から受け継がれてきた文化財や年中行事を紹介する。 どうして古いもののままの状態が続けようとするのかに問題意識を向けさせる。	○				<u>関心・意欲・態度</u> 【発言・観察】 村に伝わる行事や祭り、古い建物について関心を持ち、学習問題をつかみ、調べる計画を立てることができる。
2	村に残る古い建物や文化財について調べたことを発表し合う。	村に残る古い建物や文化財について聞き取ったことを発表させ、地図にカードをはらせる。			○		<u>技能</u> 【発言・観察・ノート】 村に残る古い建物や文化財について聞き取ったことを発表し、地図に表すことができる。
3	「東浦臼太鼓踊り」について調べる・踊りの意味	自作資料や映像等を活用し、東浦臼太鼓踊りの歴史や踊りの特徴につい				○	<u>知識・理解</u> 【ノート】 東浦臼太鼓踊りについて調べたこ

	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史 ・衣装等 	て調べる。				とをノートにまとめることができる。
4 本 時	「どんな願いで、どのように受け継がれているのか」ということについて予想する。	20年ほど前に途絶えた踊りを再興したという歴史にふれ、「再興しようと考え保存会を発足した人、踊りを受け継いだ人、地域の人の姿に着目させていく。	○			<u>関心・意欲・態度</u> 【発言・観察】 東浦臼太鼓踊りに込められた地域の人々の思いや願いについて、資料をもとに予想することができる。
5 ・ 6	保存会の方々と交流し、自分の課題を解決する。	「文化財や年中行事の保存・継承に携わる人から話を聞く活動」をより効果的に実施するため、講師の人数に合わせて、交流する場や方法を工夫する。		○		<u>思考・判断・表現</u> 【発言・観察・ノート】 保存会の方々と交流を通し、自分の課題を解決することができる。
7	保存会との交流でわかったことをまとめ、「東浦臼太鼓踊り」がどんな願いでどのように受け継がれてきたかを考え、まとめる。	「東浦臼太鼓踊り」について調べたことをもとに、学習問題「どんな願いでどのように受け継いでいるか」についてまとめる。			○	<u>知識・理解</u> 【ノート】 村には、昔から伝えられた祭などの行事があり、地域の人々の願いが受け継がれていることを理解している。
8	山田大王神社について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・神社の歴史 ・建物の特徴 ・管理する人等 	資料やパンフレットを活用し、山田大王神社の歴史や建物の特徴について調べる。			○	<u>知識・理解</u> 【ノート】 山田大王神社について調べたことをシートにまとめることができる。

9	山田大王神社について調べたことを発表する。 ・神社の歴史 ・建物の特徴、 願い	山田大王神社について調べたり、聴き取ったりしたことをもとに、神社の歴史や建物の特徴、人々の願いを考えさせる。		○		<u>思考・判断・表現</u> 【発言・観察・ノート】 神社について調べたことや資料をもとに、神社の歴史や建物の特徴、人々の願いを考えることができる。
10	村に残る古い建物や伝統行事をどう受け継いだらよいか考える。	村に残る古い建物をどう受け継いだらよいかを、前時までの学習をもとに話し合わせる。	○			<u>関心・意欲・態度</u> 【発言・ノート】 これまで調べたことをもとに村に残る古い建物をどう受け継いだらよいか考えることができる。
11	村に残る古い建物や伝統行事のパンフレットや絵地図を作る。	東浦臼太鼓踊りについては、わかったことをパンフレットにまとめさせる。			○	<u>技能</u> 【絵地図・パンフレット】 村に残る古い建物や伝統行事のパンフレットや絵地図を作ることができる。

6 本時の展開

(1) 目標 東浦臼太鼓踊りに込められた地域の人々の思いや願いについて、資料をもとに予想することができる。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT 活用
導入 5分	1 前時の学習をふり返り、本時のめあてをつかむ。 (T)前時に東浦臼太鼓踊りについて調べましたが、400年という年月の長さを確認しましょう。	・前時の学習事項をあらかじめ黒板に掲示しておき、本時の学習に生かせるようにしておく。 ・巻物型年表を使い、約400年前から伝わっていることの	巻物型年表

	<p>(C)そんなに長く受け継がれてきたのか。</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>すごさを視覚的にとらえさせたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・400年以上続いた伝統芸能であり、人から人へ受けつぐには相当に長い期間であることに気づかせる。 	
<p>東浦臼太鼓踊りを受けつぐ人たちの思いや願いを予想しよう。</p>			
<p>展開</p> <p>37分</p>	<p>2 伝統文化継承の難しさについて知る。</p> <p>(T)臼太鼓踊り等の伝統芸能は、他の地区にもありましたが、次々になくなっていきました。</p> <p>(C)なぜだろう？</p> <p>(T)東浦臼太鼓踊りも実は、20年前に一度途絶えました。</p> <p>3 伝統文化の継承の努力や苦労について考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>20年前に一度途絶えてしまった東浦臼太鼓踊りが4年前に復活できたのは、なぜだろう？</p> </div> <p>(T)踊りを受けつぐ人の思いや願いを予想してみよう</p> <p>(1)個人・グループで予想する。</p> <p>(2)全体で伝え合う。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>【言語活動】（話し合い活動）</p> <p>願いが実現するまでの村の人々の思いや願いを予想し、伝え合う活動を通して、自分の予想を広げ・深めていく。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地区にも臼太鼓踊り等の伝統芸能があったものの、次々と伝承が途絶えていったことを、電子黒板を使い視覚的に提示する。 ・伝統芸能が途絶えた理由の予想を考えさせる。 ・より身近に考えることができるよう、衣装、太鼓を展示しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>能動型学習（ポイント）</p> <p>これまでの学習や資料から自分の考えをもち、グループ・一斉と協働で考えながら、考えを広げ・深めていくようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆興味・関心（ノート）</p> <p>B基準 踊りを受けつぐ人の思いや願いを前時までの学習や、資料をもとに予想することができる。</p> </div> <p>A基準 B基準に加え、根拠を示しながら自分の予想を書いている。</p> <p>〈B基準に達していない児童への手立て〉</p> <p>提示した画像の中で予想できそうな画像を選ばせ、その理由を吹き出しにして書くよう助言する。</p>	<p>電子黒板</p> <p>タブレットPC</p> <p>電子黒板</p>

	<p>5 自分の予想をまとめる。 (C)地区だけでなく山江村の宝とっていると思う。 (C)私たちや未来に伝統を残していきたいと努力されているのではないか。</p>	<p>徹底指導（ポイント） 予想が「思いつき」になることがないように、資料からわかること、資料から予想することを書くようにする。</p>	
<p>終末 3分</p>	<p>6 次時の見通しをもつ。</p>	<p>○東浦臼太鼓踊りの保存会の方をゲストティーチャーとして招くことを知らせ、学習意欲を高める。 ○本時の学習をふり返り、自己評価する。</p>	